



お元気ですか！
志村 たかよし です

第803号 2016年8月28日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

仲卸業者有志と市民団体が 小池都知事に「要望書」を手渡す

注目される都知事の「判断」

小池都知事は、8月16日に築地市場と豊洲新市場を視察したことは、前号でご報告しました。

小池知事が築地市場を視察した際に、築地市場「移転」に反対している市場業者でつくる「築地市場・有志の会」と、市民団体や労働組合などで行く「守ろう！築地市場パレード実行委員会」が、「築地市場の移転『延期発表』後、直ちに行って頂きたい政策」を提言した要請書を都知事に手渡ししました。



「七項目」を要望

要請書は、東京都が整備を進めている豊洲新市場を11月7日に開場する計画について、「『移転延期』は避けられないと考えている」として、移転計画を延期し必要な対策を講じるよう政策提言したものです。

具体的には、

- ▽全事業者・関係者への聞き取り調査を行うこと。
- ▽築地市場の施設を補修すること。
- ▽第三者による調査・検証委員会を設置し、新市場の設計、建設費用・維持費が適切かどうかを検証すること。
- ▽土壌汚染問題についての調査



築地市場正門前で＝8/16

員会を設置すること。

▽築地市場・取引業務運営協議会を開き、移転延期の対応を検討すること。

▽説明会を公開で開催し、全事業者・関係者への大規模意向調査を実施すること。

など7項目を要望しています。

土壌汚染問題の再検証を要求

このうち、土壌汚染問題については、「私たちの調査で300カ所を超える汚染区画の隠蔽が明らかになっており、豊洲新市場の5街区（青果棟）の室内空気中から比較的高い濃度のベンゼン汚染が検出された問題との因果関係を否定したい事態となっている」と指摘しています。

新市場の施設内の空気汚染調査を少なくとも1年以上継続し、土壌汚染対策を検討した都の「専門家会議」の提言が正しく実施されたのかどうかを検証する必要があると求めています。

小池知事は、しっかりと立ち止まってくれるのでしょうか。

臨海部問題・中央区の会「第26回定期総会」開催 会の名称は「臨海部の環境とまちづくりを考える中央区の会」へ



開会の挨拶をする田辺会長。左が私（志村）

夏の日射しが強くて照りつける8月6日、豊海市民館において、私が事務局長を務めている「臨海部問題・中央区の会」の第26回定期総会が行われました。

毎年7月に開催している総会ですが、今年には都知事選挙が行われたため開催が8月となったものです。

田辺七郎会長の開会挨拶の後、臨海都民連の市川隆夫事務局長から連帯と激励の挨拶がありました。

市川氏は、築地市場「移転」問題をめぐる動きとともに、東京五輪選手村開発事業をめぐる疑惑や安倍政権が打ち出した「28兆円の景気対策」の目玉のひとつに、青海

の巨大客船バース計画が含まれていることなどを大きな問題に浮上させる重要性を力説し「中央区の会」の活動に大きな期待を寄せました。

すべての議案を全員一致で採択

事務局から、15年度活動報告、16年度活動方針案、15年度決算報告、16年度予算案の報告とともに、16年度世話人・役員案と会の名称の変更及び変更に伴う規約の改正について提案がありました。

会の名称変更については、田辺会長から「昨年の総会で会の名称を『臨海部問題・中央区の会』に変更しました。この一年間の会の様々な活動を通じ、『中央区の会』は、どのような活動をしている組織ですか」という質問を受け、中央区を含む臨海部の環境問題、道路問題、まちづくり問題など様々な問題の勉強をしている会と説明してきました。このような経緯を踏まえ会の名称を活動内容がよりわかりやすいものにするために名称を変更したい」との提案説明がありました。

事務局からの報告・提案後の討論では「毎月行っている学習交流会は大勢の方たちに開かれたものにならないともったいない」「住民の方たちも参加できるような広報活



市川隆夫都民連事務局長

動が必要」「区民に事実を知らせる努力を」「複数の政党が参加してくれるのが望ましい」「地域の現状を再認識するためにま

ち歩きによる現地調査をしたい」などの積極的な発言が相次ぎました。

討論の後に採決が行われ、名称変更も含めすべての議案が拍手で確認されました。なお、7月の都知事選を経て新しく小池百合子都政になったもとの会の活動を示した「第26回総会決議」も参加者全員一致で確認されました。

「臨海部問題中央区の会」とは。

「臨海幹線道路計画に反対し、都民本位の臨海部開発を求める中央区の会（略称・臨海部問題・中央区の会）」は、1991年12月10日に結成されました。

これまで25年間、都民本位の臨海部開発を求め、臨海幹線道路計画に反対するとともに、環境を守る活動などに幅広くとりくんできましたが、この度の総会で会の名称を活動実態に合わせて変更しました。